

# 政令指定都市における市民向け防災リーダー研修の実施状況

減災対策推進特別委員会  
平成25年2月13日資料

## 1 札幌市

| 実施有無                   | 有   |
|------------------------|---|
| 研修の名称                  | (各区) 防災リーダー研修   |
| 事業費 (千円)<br>(平成24年度予算) |   |
| 内容                     | 地域防災力の向上を図るため、町内会などで防災訓練等の活動を実施するにあたって、円滑に進めるための事前準備や連絡調整等を中心になってお手伝いいただく防災リーダーを育成することを目的とする。<br>・学科研修 (自主防災制度の概要、防災訓練・対策等)<br>・実技研修 (情報連絡訓練、消火訓練、救出救護訓練、DIG (簡易型災害図上訓練) などを組み合わせて実施) |
| 開催回数<br>(平成23年度実績)     | 10回 (参加者数 計1395名)   |
| 事業開始年度                 | 平成9年度   |
| 事業開始以降の参加者数            |   |
| 課題                     | (1) 研修を実施する上での課題  |
|                        | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題  |

## 2 仙台市

| 実施有無                          | 有  |
|-------------------------------|--|
| 研修の名称                         | 仙台市地域防災リーダー (SBL)<br>※SBLとは (Sendaishi chiiki Bousai Leader) の略。   |
| 事業費 (千円)<br>(平成24年度予算)        | 3809   |
| 内容                            | 自主防災活動のさらなる活性化を図るため、防災に関する知識と技術を有し、自主防災活動の中心的な役割を担う仙台市地域防災リーダー (SBL) の養成講習会を実施。(50名)<br>講習を受けた方々には認定証および地域の防災活動で使用していただくためのオリジナルヘルメット、ビブスを提供した。(2日間 12時間の講習) |
| 開催回数<br>(平成23年度実績)<br>※平成24年度 | 2回 (第1期11/17~18) (第2期11/29~30)   |
| 事業開始年度                        | 平成24年度   |
| 事業開始以降の参加者数                   | 50人  |
| 課題                            | (1) 研修を実施する上での課題   |
|                               | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題   |

### 3 さいたま市

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 研修の名称                 | ①防災リーダー研修会<br>②防災士養成研修講座<br>③防災ボランティアコーディネーター養成研修講座  |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | ①市費は0円。自主防再組織連絡協議会から162千円（会場使用料+講師依頼料）<br>②7624千円（業者への委託料+会場使用料）<br>③3511千円（初級・中級を合わせた委託料+会場使用料）   |
| 内容                    | ①市内の自主防災組織（未結成のところは自治会）に対し、外部から講師を呼んで講演会を開催し、地域の自主防災力向上を図る。講演内容としては災害時要援護者の支援や東日本大震災での教訓を活かした防災教育などについて。<br>（自主防災組織連絡協議会とさいたま市の共催）<br><br>②民間資格である防災士資格取得を支援し、取得者に対して「さいたま市防災アドバイザー」として認証。専門知識を活かして地域の防災講演や避難場所運営の指導の担い手になってもらう。<br><br>③災害発生時に、ボランティアセンターや避難場所において、ボランティアを必要とする人とボランティア参加希望者の仲介を行える人材の養成を目的とする。 |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | ①1回<br>②③各1回（平成24年度で終了。ただし、スキルアップ研修として継続予定）  |
| 事業開始年度                | ①不明（平成16年度以降は記録有）<br>②平成21年度<br>③平成22年度  |
| 事業開始以降の参加者数           | ①不明（毎回1400名ほどの出席者）<br>②493名<br>③599名   |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題<br>①講師や会場の確保。   |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題<br>②③定期的なフォローアップの必要性<br>⇒平成24年度より講座受講者を対象にスキルアップ研修を実施。  |

#### 4 千葉市

|                       |  |  |
|-----------------------|--|--|
| 実施有無                  | 有  |  |
| 研修の名称                 | ①防災リーダー養成講座<br>②千葉市防災リーダー研修会   |  |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | ①0円<br>②223千円（講師謝礼、会場使用料、吊看板作成）  |  |
| 内容                    | ①自主防災組織の災害時における的確かつ迅速な行動力の養成及び防火防災訓練の定着化等を図るために、自主防災組織のリーダー等を対象に2日間実施する。<br>（修了証を交付）<br>〔内容〕千葉市の防災体制（防災講話）、救出・救助訓練（ロープ結索、応急担架）、応急手当訓練（普通救命講習）、防災マップ作り（DIG）、避難所運営ゲーム（HUG）<br><br>②住民の防災意識向上のため、防災に関する専門家の講演を行う。 |  |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | ①3回<br>②1回   |  |
| 事業開始年度                | ①平成14年度<br>②平成元年度  |  |
| 事業開始以降の参加者数           | ①648人<br>②平成13年度から7070人（平成12年度以前は不明）   |  |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題   | ①1回あたりの定員が40名程度に対して、応募者が2～3倍であることから、抽選を行っている。（中には、毎年度応募しているが落選している方もいる。）<br>講師や会場の都合もあるが、なるべく多くの方に受講していただく機会の提供が望まれる。（平成23年度は、追加開催）<br><br>②参加者の防災意識の高揚につながるテーマや講師の選定について工夫が必要である。<br>また、参加者の年齢層が高いため、今後は若い方が参加できるような、日時等の設定が必要である。  |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題   | ①平成22年度の講座より、防災マップ作り（DIG）、避難所運営ゲーム（HUG）を導入した。<br>これらは、災害時に生じるさまざまな出来事への対応能力を養うために有効であることから、講座修了者が中心となり、地域住民に浸透させていく体制づくりが必要である。<br>また、一度受講した者に対して上級講座を設けるなど、防災リーダーとしての更なるスキルの向上を図る必要がある。<br><br>②「自助」、「共助」の大切さを浸透させ、地域防災活動の強化を図ることを目的として開催しているが、大人数を対象とした講演会形式のため、その後のフォローアップが困難である。（なお、講演後にアンケートは実施している。） |

## 5 川崎市

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 実施有無                  | 有  |
| 研修の名称                 | 自主防災組織リーダー等養成研修  |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | 0  |
| 内容                    | 毎月15日の「市民地震防災デー」の啓発事業の一環として、毎年、自主防災組織の核となるリーダー等を対象として研修会を実施し、自主防災組織の充実・強化を図り、地域の防災力の向上を図る。                               |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | 合計7回（市内7区について、月ごとに1区ずつ開催）  |
| 事業開始年度                | 平成15年度   |
| 事業開始以降の参加者数           | 4033人（平成24年12月7日現在）  |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題<br>平成24年度研修内容：<br>「避難所運営ゲーム（HUG）の実施」<br>実施の際、参加人数に応じて対応する職員を配置し、併せて職員研修を行った。<br>今後、地域と一体となった研修機会を増やしたい。 |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題<br>受講者（各自主防災組織のリーダー）が各地域の実情や避難所の状況に応じたかたちでHUGを実施し、結果を運営マニュアル等に反映し、実効性を高める必要がある。               |

## 6 相模原市

|                       |                                 |
|-----------------------|---------------------------------|
| 実施有無                  | 無                               |
| 研修の名称                 | —                               |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | —                               |
| 内容                    | —                               |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | —                               |
| 事業開始年度                | —                               |
| 事業開始以降の参加者数           | —                               |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題<br>—           |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題<br>— |

## 7 新潟市

|                       |  |   |
|-----------------------|--|---|
| 実施有無                  | 有  |   |
| 研修の名称                 | 自主防災組織リーダー研修会  |   |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | 0  |   |
| 内容                    | 自主防災組織のリーダー育成を目的とし、有識者による防災講演や先進的な取り組みを行っている自主防災組織の代表者による先進事例発表を行っている。 |   |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | 4回<br>（本庁主催0回、区役所主催4回）   |   |
| 事業開始年度                | 平成14年度   |   |
| 事業開始以降の参加者数           | 2616人  |   |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニーズの把握</li> <li>・ 講師の選定</li> <li>・ 会場の選定</li> <li>・ 広報の仕方</li> </ul> |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修参加者が研修で得た知識等を、所属する自主防災組織に対し、いかに還元できるか。</li> </ul>                  |

## 8 静岡市

|                       |  |   |
|-----------------------|--|---|
| 実施有無                  | 有  |   |
| 研修の名称                 | ①防災指導員研修<br>②防災技能者研修   |   |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | ①702千円<br>②548千円   |   |
| 内容                    | <p>①自主防災体制の確立、住民の防災意識の高揚及び災害応急活動の習得など地域の災害対応能力の更なる向上を図るため、地域の防災リーダーとして「防災指導員制度」を導入し、防災研修講演会を開催した。</p> <p>②各自主防災組織の防災委員や一般住民を対象に救出用資機材等の取扱いや普通救命講習など研修を実施して、災害時や訓練時に地域のリーダーとして活躍する「防災技能者」を育成している。</p> |   |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | ①1回<br>②1回   |   |
| 事業開始年度                | ①平成9年度<br>②平成10年度  |   |
| 事業開始以降の参加者数           | ①不明（平成23年…242人）<br>②4160名  |   |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題   | <p>自主防災会役員の参加となるため高齢者が多く、次世代の防災の担い手である青少年層の参加が非常に少ない状態である。今後は青少年層を対象にした研修会の実施が必要だと思われる。</p> <p>また、地域社会への寄与意識の希薄化に伴い、地域における既存の組織的な活動になじみの薄い住民が増加していることから、研修を実施するうえでマイナス要因となっている。</p> |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題   | <p>自主防災会の役員は、年度ごとで替わることが多く、研修したことが引継ぎができず、受講者において防災スキルが向上しない。</p>   |

## 9 浜松市

|                       |                            |   |
|-----------------------|----------------------------|---|
| 実施有無                  | 無                          |   |
| 研修の名称                 | —                          |   |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | —                          |   |
| 内容                    | —                          |   |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | —                          |   |
| 事業開始年度                | —                          |   |
| 事業開始以降の参加者数           | —                          |   |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題           | — |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題 | — |

## 10 名古屋市

|                       |  |  |
|-----------------------|--|--|
| 実施有無                  | 有  |  |
| 研修の名称                 | 自主防災組織リーダー講習   |  |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | 自主防災組織リーダー講習のための予算は特になし。<br>「自主防災組織の育成」に係る予算額は、11105千円（嘱託員の賃金等を除く）となっている。<br>内訳は、訓練用消耗品等の購入、防災冊子の作成、自主防災組織結成時の助成品など。     |  |
| 内容                    | 自主防災組織の代表者等を対象に、各区において地域の実情や要望などを踏まえて実施している。<br>（講習内容）<br>・ 防災講習（地域防災コミュニティ、自主防災組織の必要性等）<br>・ 訓練指導方法<br>・ 専門技術<br>・ 安全管理 |  |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | 35回  |  |
| 事業開始年度                | 平成5年度  |  |
| 事業開始以降の参加者数           | 16047人（平成17年度～平成23年度の合計）<br>※それ以前はデータなし。   |  |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題   | 特になし。  |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題   | 本市で実施している「自主防災組織リーダー講習」は、自主防災会の会長等を対象に行っているものである。会長は、ほとんどが町内会長であり、リーダー講習に参加する住民は、町内会長や副会長、組長などといった方々となっている。本市のリーダー講習は、日頃の地域活動の一つとして自主防災にも取り組んでもらうために、地域の代表者の方々の意識付けを目的とした講習と位置付けているものである。<br>また、講習修了者については、資格、称号といったものは授与していない。従って、一般市民の方に資格、称号を授与したが、その後の活用方法をどうするのかといった、設問のような課題はなし。 |

個別質問 講習内容は誰がどのように決めているか。

→講習内容については、各区の消防署において、地域の要望や実情などに応じてその都度決めているもので、全市的なカリキュラムはない。上記に記載された「内容」については、本市の「自主防災組織の活動支援に関する規程」の内容を記載したものである。

11 京都市

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 実施有無                  | 有  |
| 研修の名称                 | ①自主防災リーダー養成研修<br>②自主防災トップリーダー養成研修  |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） |  |
| 内容                    | ①自主防災部（おおむね町内会単位で構成）としての活動を実施するために必要な基本的な知識・技術（救出救護器材の取扱い，市民防災行動計画（町内版の防災計画）など）を，おおむね3時間程度で自主防災部長等に身に付けてもらう。<br>②自主防災会（おおむね学区（元小学校区）単位で構成）として地域の防災活動を担うために必要な高度な知識・技術（学識経験者等による講義，DIGやクロスロード等の実践など）を，2日間（12時間）で自主防災会長等に身に付けてもらう。 |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | ①54回1515名<br>②2回156名（※平成24年度）  |
| 事業開始年度                | ①平成10年度<br>②平成24年度   |
| 事業開始以降の参加者数           |  |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題   |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題   |

## 12 大阪市

| 実施有無                  | 有  |                             |
|-----------------------|--|-----------------------------|
| 研修の名称                 | 地域防災リーダー研修   |                             |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | 4518   |                             |
| 内容                    | <p>地域防災リーダーに対する研修を実施することにより、地域防災力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災学習</li> </ul> <p>研修テキストにもとづいて自主防災組織の必要性や非常時の活動要領等について教養を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術訓練</li> </ul> <p>研修資器材等を活用して、次の項目についての訓練指導を行う。</p> <p>初期消火訓練（可搬式ポンプの操作、消火器の取り扱い）<br/>救出・救護訓練（防災資器材の使用手法、外傷処置を中心とした応急処置）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災知識の研修</li> </ul> <p>地域防災計画による本市の防災体制や、地域の特性による被害想定等について研修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害想定訓練</li> </ul> <p>地域の特性による被害想定を踏まえたうえでの防災訓練を行う。</p> |                             |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | 各連合 1回 332連合   |                             |
| 事業開始年度                | 平成8年度  |                             |
| 事業開始以降の参加者数           | 約4万人（平成18年度以降）   |                             |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題   | 特になし                        |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題   | 地域で行う避難所開設訓練、図上訓練等への積極的な参加。 |

## 13 堺市

| 実施有無                  | 有                           |   |
|-----------------------|-----------------------------|---|
| 研修の名称                 | 防災リーダー研修等                   |   |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | 3400                        |   |
| 内容                    | 各区の実情に応じた内容の研修会<br>（避難所開設等） |   |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | 7回                          |   |
| 事業開始年度                | 平成22年度                      |   |
| 事業開始以降の参加者数           | 約1500人                      |   |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の高齢化</li> <li>・参加者の固定化</li> </ul>    |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修参加者同士の連携</li> <li>・区を超えた連携</li> </ul> |



14 神戸市

|                       |  |    |
|-----------------------|--|----|
| 実施有無                  | 有  |    |
| 研修の名称                 | 市民防災リーダー研修                                   |    |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | 500  |    |
| 内容                    | 津波避難に関する知識の取得等<br>消火訓練<br>救助機材取り扱い訓練<br>応急手当 |    |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | 76回  |    |
| 事業開始年度                | 平成8年度  |    |
| 事業開始以降の参加者数           | 11113人                                       |    |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題                             | なし |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題                   | なし |

15 岡山市

| 実施有無                  | 有   |
|-----------------------|---|
| 研修の名称                 | ①地域応援人づくり講座（防災分野）<br>②岡山市防災まちづくり学校  |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | ①3539（防災含む全分野）<br>②345  |
| 内容                    | <p>①市内96の小学校区・地区で安全・安心ネットワークが組織され、様々な地域活動に取り組んでいる中で、市民の安全・安心ネットワーク活動への参画意識の醸成と活動分野の拡大を図るとともに、地域内でのリーダー・コーディネーターを養成するために防犯・交通安全・防災・環境美化・地域福祉・健康づくりの6分野で人材育成の講座を実施。</p> <p>②「防災とまちづくり」について学習する機会を提供し、基礎的な知識や技術を習得していただくとともに、今後の防災まちづくりについて考え、地域におけるリーダー的役割を果たす人材の育成を目的とする。6回の講座を開催するほか、総合防災訓練への参加と兵庫県神戸市にある「人と防災未来センター」を視察する。</p> |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | ①25回<br>②7回   |
| 事業開始年度                | ①平成20年度<br>②平成8年度   |
| 事業開始以降の参加者数           | ①2028<br>②修了者634  |
| 課題                    | <p>(1) 研修を実施する上での課題</p> <p>①講座の内容は防犯・交通安全・防災・環境美化・地域福祉・健康づくりの6分野であるため、それぞれの局でも地域応援人づくり講座と似通った内容の講座を行っているものと思われる。<br/>事業の重なりがあるとともに、他部局の講座との連携ができていないために、各分野に関心をもった人材を逃している可能性がある。</p> <p>②受講の参加年齢層に固定化が見られるため、青壮年層、女性へのさらなる広がりを持たせたいと考えている。<br/>定員を超える応募があるものの、出席率が漸減の傾向にあるため、向上の工夫を要する。</p>                                    |
|                       | <p>(2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題</p> <p>①研修受講者がどのように地域のリーダーとして活動していくか。単に受講しただけで終わらないようにする必要がある。<br/>また、他団体（ボランティア、NPO等）と連携を図る仕掛け作り。</p> <p>②講座修了後のフォローは行えていないため、成果の活用の把握はできていない。<br/>自主防災会未結成の町内からの受講者には、講座を通じ結成を呼びかけているが、この点については目立った成果は得られていない。</p>  |

16 広島市

| 実施有無                  | 有   |
|-----------------------|---|
| 研修の名称                 | ①自主防災会研修（広島市総合防災センター研修）<br>②自主防災会リーダー研修会  |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | なし  |
| 内容                    | <p>①自主防災会や町内会などの市民を対象に、防災知識や災害時の行動力、対処方法を身につけるための体験学習</p> <p>(1)防災講座<br/>(2)地震体験<br/>(3)避難訓練（煙体験）<br/>(4)天ぷら油火災実験<br/>(5)消火体験（消火シミュレーション、消火器）<br/>(6)応急手当（応急手当法、心肺蘇生法、AED取扱方法）等</p> <p>②管内の8消防署において、自主防災会のリーダーの育成を目的として、各自主防災会の実態に即した研修項目により実施している。</p> |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | ①62回<br>②92回  |
| 事業開始年度                | ①昭和60年度<br>②昭和60年度  |
| 事業開始以降の参加者数           | ①約39000人<br>②約71000人<br>（いずれも過去3年間の平均参加者数×28年間）   |
| 課題                    | <p>(1)研修を実施する上での課題</p> <p>各研修は、広く地域の方々を対象に実施しているが、受講者の年代（高齢者が多い）や同じ人が受講するなど偏りが見られる。<br/>また、市としても問題となっているが、町内会・自治会への加入率の低下があり、自主防災会の活動が、町内会・自治会を母体としていることから、特に未加入者への研修への参加呼びかけが難しくなっていると感じる。</p>   |
|                       | <p>(2)研修参加者を防災対策に活用していく上での課題</p> <p>自主防災会のリーダー等の研修を行っているが、毎年役員が交代するなど、地域コミュニティの軸となる方がいない自主防災会もあり、難しさを感じている。</p>   |

17 北九州市

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 実施有無                  | 有  |
| 研修の名称                 | 防災リーダー研修   |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | 6700   |
| 内容                    | <p>本市では、地域の防災力を高めるため、自主防災組織である「市民防災会（194組織）」に対して、各消防隊に小学校区ごとの担当を割り振った「地区安全担当制度」を活用し、防火・防災訓練の実施や住民参加型災害図上訓練、出前講演等の地域に密着した啓発活動を進めている。</p> <p>これらの啓発活動は、参加者全員が理解できることを目標とした標準的な内容での指導を基本に実施しており、「市民防災会」の防災リーダーへの教育については、防災リーダー研修テキストの配布を始めとして、防災訓練の企画段階からの参加や訓練講評時等における個別指導、さらには毎年秋に実施する防災フォーラムを防災リーダー研修の一環として位置づけて行っている。</p> |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | 194回（1組織に対し、年1回実施）   |
| 事業開始年度                | 平成9年度  |
| 事業開始以降の参加者数           | 未算出  |
| 課題                    | <p>(1) 研修を実施する上での課題</p> <p>自主防災組織の構成年齢の高齢化や防災リーダーへの教育の場としている防災訓練の企画調整や訓練講評時等における個別指導の対象となる役員等が固定されること。</p>   |
|                       | <p>(2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題</p> <p>防災リーダーとなるべき自主防災組織役員が他団体（まちづくり協議会や社会福祉協議会等）との兼務による負担があること。</p>   |

個別質問

■問（1）消防隊が「地区安全担当制度」に要する年間の通算業務時間（年間で何時間くらいかわっているのか）について、算出可能な数字かどうか（算出可能な場合、その時間数）  
 →「防災リーダー研修」そのものに係る「地区安全担当制度」の業務時間は、集計していないが、防火・防災訓練の実施や住民参加型災害図上訓練、出前講演等の地域に密着した啓発活動を進めていく中で「防災リーダー研修」の一環として位置づけた防災訓練の企画段階からの参加や訓練講評時等における個別指導を含んだ「地区安全担当制度内の市民防災推進行事」の平成23年度中における回数は、992回で約992時間と算出している。

■問（2）研修会は、全市で共通のカリキュラムを組んで実施しているのかどうか。  
 →地域の防災リーダーに対しては、防災リーダー研修テキストの配布を行っているが、上記に記載した防災訓練の企画段階からの参加や訓練講評時等における個別指導内容については、共通のカリキュラムはなく、地域の実情に応じた訓練内容等を地域の方々と協議しながら実施している。

18 福岡市

|                       |   |   |
|-----------------------|---|---|
| 実施有無                  | 有   |   |
| 研修の名称                 | ①博多あん（安全）・あん（安心）塾（一般講座）<br>②博多あん（安全）・あん（安心）塾（地域実践者講座）   |   |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） | 651   |   |
| 内容                    | ①平成17年3月に発生した福岡県西方沖地震の教訓を踏まえ、災害に強い、安全・安心のまちづくりを行うために、地域や企業における防災リーダーを育成することを目的として、平成17年度から、毎年「博多あん（安全）・あん（安心）塾（一般講座）」を開講（9日間）しており、毎年100名程度の地域や企業における「防災リーダー」（防災士）の養成を目標として、市内全校区に複数名の防災リーダーを配置できる態勢の整備を進めている。<br>②平成24年度からは、地域の防災活動の取り組みをさらに深めるため、実際に地域で防災活動に参加している方を対象に、「博多あん（安全）・あん（安心）塾（地域実践者講座）」を新たに実施（5日間）した。この講座は、地域の防災活動に役立つ内容であるうえに、①（一般講座）に比べ、短期間の開催日程としている。 |   |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | ①1回<br>②1回  |   |
| 事業開始年度                | ①平成17年度<br>②平成24年度  |   |
| 事業開始以降の参加者数           | ①652名（防災士合格者628名）<br>②26名   |   |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題  | 受講期間が長期間となるため、申込みをためらう方や、受講生であっても時間の調整等が難しく、期間等について、検討してほしいとの要望もある。 |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題  | 修了者の多くが防災士の認証に留まっており、地域組織に入り込めてない。                                  |

19 熊本市

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 実施有無                  | 有                                       |
| 研修の名称                 | 自主防災クラブリーダー研修及び防災教育講座                   |
| 事業費（千円）<br>（平成24年度予算） |   |
| 内容                    | 年度において新規結成された自主防災クラブに対する事例発表等やD I G等の研修 |
| 開催回数<br>（平成23年度実績）    | 各2回                                     |
| 事業開始年度                | 平成21年度                                  |
| 事業開始以降の参加者数           |   |
| 課題                    | (1) 研修を実施する上での課題                        |
|                       | (2) 研修参加者を防災対策に活用していく上での課題              |

政令指定都市における学校防災教育の取り組み状況

減災対策推進特別委員会  
平成25年2月13日資料

|       | 独自の教材作成状況  | カリキュラムへの組み込み      | カリキュラムを組むうえでの現場への配慮等  |
|-------|--|-------------------|---|
| 札幌市   | 無  | 無                 | —   |
| 仙台市   | 今後作成予定<br>(防災教育副読本を平成25年3月に発行予定)                           | 無                 | —   |
| さいたま市 | 今後作成予定(平成25年2月頃)   | 今後実施予定(平成25年4月から) | 全市立小・中学校に示している年間指導計画例に沿った、防災教育のカリキュラム及び指導計画例を作成する。  |
| 千葉市   | 無  | 無                 | —   |
| 川崎市   | 有<br>(防災学習テキストを発行し、各学校で「自分の身は自分で守る」防災教育の充実に役立てられるようにしている。) | 無                 | —   |
| 相模原市  | 有  | 無                 | —   |
| 新潟市   | 無  | 無                 | 新潟市独自のカリキュラムはないが、新潟県で作成している「県防災教育プログラム」を市内の学校でも使用するよう研修会等で紹介している。   |
| 静岡市   | 無  | 無                 | —   |
| 浜松市   | 無  | 無                 | —   |
| 名古屋市  | 有  | 無                 | —   |
| 京都市   | 未回答  | 未回答               | —   |
| 大阪市   | 無  | 無                 | 「子どもの安全を守るための防災指導の手引き」を作成し、各学校の実情に応じて防災教育が行えるようにしている。   |
| 堺市    | 今後作成予定   | 無                 | 今後、市教委が中学校区での防災教育カリキュラムのフォーマット(枠組み)を作成して各学校に提供する予定である。具体的には、防災教育でつけたい力や各教科・総合的学習・特別活動(学校行事)といった学びの場と、小学校1年～中学校3年の義務教育9年間の発達に応じた内容とをマトリクスにしたフォーマットを提示し、これをもとに、各中学校区において、学校や地域の実態に応じたカリキュラム案を作成する予定である。   |
| 神戸市   | 有  | 有                 | 平成7年の阪神・淡路大震災を受けて、平成9年、幼稚園、並びに、小中学校の9年間を見通した系統的な指導、発達段階を考慮した指導を行うために、指導資料「『生きる力』を育む防災教育」を発行し、神戸市の防災教育のカリキュラム(案)を提示している。各学校園では、これを参考にして、防災教育副読本「しあわせはこぼろ」「幸せ運ぼう」を中心的な教材として、各学校園独自の指導計画を作成し、実態に即した防災教育を推進している。全市で統一的にカリキュラムを組んで行っているかといえ、そこまでの強制力はないが、各学校園で作成する指導計画のひな形となるものを提示しているということで、カリキュラムに組み入れているとした。平成24年度には、「新たな神戸の防災教育検討委員会」を設けて、防災マニュアル、防災教育カリキュラム(案)、防災教育副読本「幸せ運ぼう」のそれぞれの改訂作業に取り組んでおり、3月末までに発行する予定となっている。 |
| 岡山市   | 無  | 無                 | —   |
| 広島市   | 無  | 無                 | —   |
| 北九州市  | 今後作成予定<br>(今年度中に防災教育に関するDVD「北九州市防災教育プログラム」を作成予定)           | 無                 | —   |
| 福岡市   | 無  | 無                 | ①市民局防災危機管理課が作成した資料(小学校1・4年生、中学校1年生に毎年配付)を防災教育に活用している。<br>②福岡管区气象台と連携し、「緊急地震速報対応行動訓練」を広めている。<br>③1、2について、モデル校を決め、全市に公開し、各学校での実施の参考にしてもらうようにしている。<br>④「学校の危機管理マニュアル」の見直しに向け、「福岡市教育委員会」による〔暫定版〕を例示し、各学校で生かすことができるようにしている。  |
| 熊本市   | 無  | 無                 | —   |

※参考 岩手県釜石市では、津波防災教育について、各学年の教科の中で、地震・津波・防災に関連する授業を行えるようなカリキュラム例や総合学習の中でのカリキュラム例などを記載した津波防災教育のための手引きを作成し、各学校に配付し、各学校の実情に応じて活用している。